

(参考)

NCの役割

1. 先端医療機器の開発拠点としての役割

日本の医療ニーズにマッチした医療機器の開発と世界への発信

(例: 15年長持ちする人工心臓、歩ける老人、痛みの緩和 など)

- 日本の成熟した技術を集めて、医療機器開発に応用する機能。そのために必要なキーパソン(目利き)の配置。
- 医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS)重点テーマの具体化と、企業との共同開発・実用化推進
- 学会との連携による先端的医療機器の評価指標・審査基準の確立
- 共同開発した医療機器の承認審査の簡素化・条件付承認
- 医療機器の種類に応じた複数の治験ネットワークのハブ機能
- 治験データを集積するデータベースの構築

NCの役割

2. 医療機器専門人材育成の拠点としての役割

- 疾病ごとに国内外の指導的なドクターの招聘と治療モデルの構築
- アジアのトレーニングセンターとしての機能
- 工学系人材の配置・医療機器専門人材の育成とサテライトへの人材供給
(医療機器専門コースの設置)

3. 医療現場革新

- ベストプラクティスの追及と普及
 - ・動線分析、品質管理等の手法の導入による医療安全・効率化推進
 - ・トレーニングセンターを活用した普及